記者発表資料

平成２６年１２月１９日
東北地方整備局

名取市閖上地区の「かわまちづくり」計画を登録、「河川防災ステーション」計画が承認

～　「賑わい」と「安全・安心」のまちづくりを支援　～

○平成２６年１２月１９日付けで、名取川における地域と連携した川づくりを進める「閖上地区かわまちづくり」計画を国土交通省かわまちづくり支援制度に登録しました。

○「閖上地区かわまちづくり」計画登録の伝達式を以下のとおり実施します。

・日　　時：平成26年12月25日（木）11時～11時30分（予定）
・場　　所：名取市役所 議会棟 第一・第二委員会室
・出 席 者：名取市長
　　東北地方整備局 河川部長
・取材対応：受付は10時45分から行います。取材は、担当者の指示に従って下さい。

○また、同日付けで「閖上地区河川防災ステーション」計画が承認となっております。

○名取市では、名取市震災復興計画に基づき、被災した閖上地区において、高い防災力と魅力あるまちづくりを進めるため、復興土地区画整備事業等を実施しています。

○名取市が申請した「かわまちづくり」計画に基づき、国土交通省では、同地区での河川堤防の復旧にあわせ、地域と連携した賑わいのある水辺空間を創出し、名取市の進める魅力あるまちづくりを支援します。

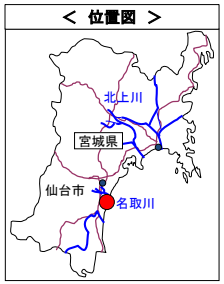
○さらに、国土交通省では「河川防災ステーション」を同地区に整備し、防災機能の向上を図り、名取市の進める復興を支援します。

○なお、「かわまちづくり支援制度への登録」、「河川防災ステーション計画の承認」については、本日、国土交通本省においても記者発表しています。
http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/index.html

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会＞

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　河川部
ＴＥＬ　０２２－２２５－２１７１
（かわまちづくり計画）
河川環境課長　土田（つちだ）　恒年（つねとし）　（内線３６５１）
（河川防災ステーション整備計画）
河川計画課長　山田（やまだ）　拓也（たくや）　（内線３６１１）

名取市閖上地区の復興まちづくりを支援
～「かわまちづくり」及び「河川防災ステーション」の概要～



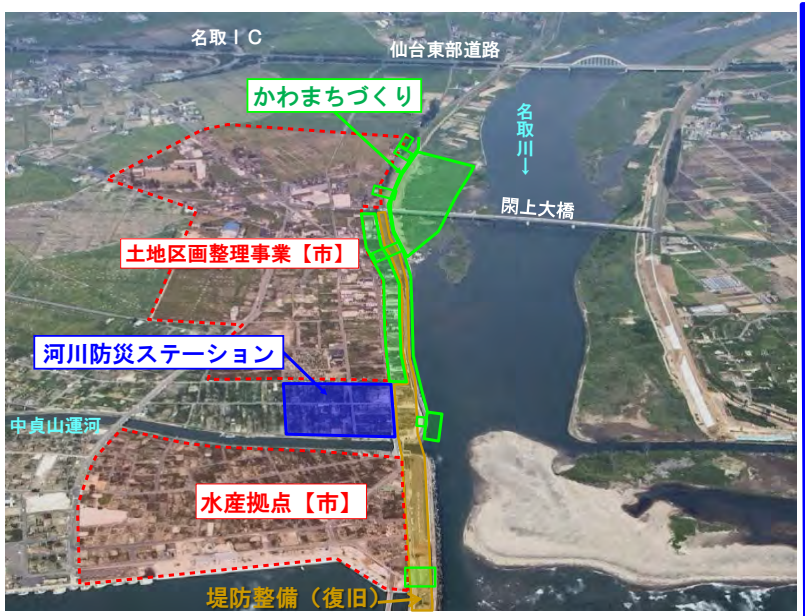
東日本大震災で甚大な被害を受け、復興まちづくりを進める名取市閖上地区について、**水辺空間と一体となった賑わいのあるまちづくりを実施する「かわまちづくり」**と、**洪水等緊急時の復旧を迅速に行うための拠点となる「河川防災ステーション」の整備**を行い、閖上地区の復興・再建を支援する。

かわまちづくり

再建される閖上の市街地と名取川とのアクセスを容易にする階段や管理用通路、広々とした河川空間を満喫でき、様々なイベントで活用される広場などの整備により、河川堤防の背後にあるまちと一体となった賑わいのある水辺空間を創出。



高水敷の活用イメージ





整備イメージ

河川防災ステーション

緊急用資材を備蓄するとともに、洪水時には自治体の水防活動を支援し、緊急復旧を迅速に行う基地を整備。

平常時には、地域の人々のコミュニケーションの場、河川を中心とした文化活動の拠点などとして活用。



整備イメージ





【災害時の活用】
- 洪水時等の現地対策本部
- 緊急用資材備蓄、災害対策車両基地
- 水防倉庫、水防団の待機場所
- 一般住民の避難場所

【平常時の活用】
- 地域のコミュニティスペース
- 水防活動の訓練等
- 防災学習や情報発信施設

（参考①）

かわまちづくり支援制度

～良好なまち空間と水辺空間の形成～

河川が有する歴史・文化・景観など地域の資源を活かし、官民連携の下で立案された水辺の整備・利活用計画（かわまちづくり計画）に基づき、まちと水辺が融合した空間の形成を図ります。

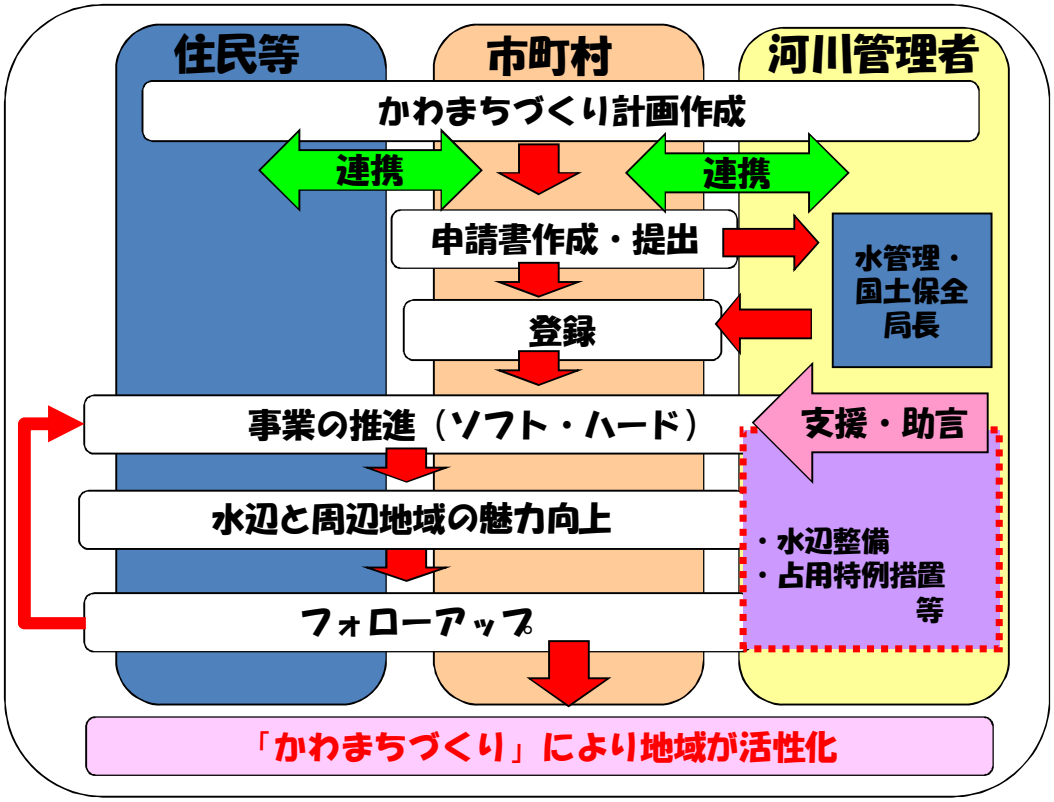
○事業概要

ソフト支援：民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度（都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例）等を活用、河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援。

ハード支援：治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。



管理用道路をフットパスとして活用
（最上川）



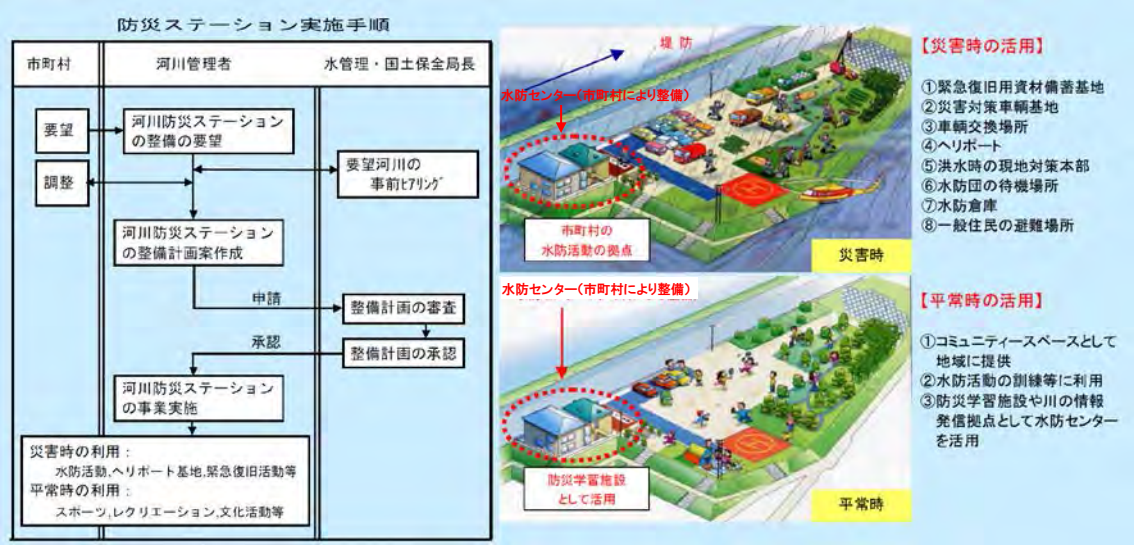
図：かわまちづくりの流れ

（参考②）

河川防災ステーション

「河川防災ステーション」は、水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保するものです。洪水寺には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々のレクリエーションの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として大いに活用される施設です。国土交通省では、今後も地方自治体と連携を図り計画的かつ積極的に整備していきます。

※閖上地区河川防災ステーション(名取川：名取市)は、三本木地区河川防災ステーション(鳴瀬川：大崎市三本木町)、涌谷地区河川防災ステーション(江合川：遠田郡涌谷町)につぐ、宮城県内３番目の防災ステーションとなります。



災害時の活用例（防災ステーションの備蓄資材の活用）

防災ステーションでの作業状況



備蓄資材の搬出作業



大型連節ブロックを緊急復旧に使用





コンクリートブロックを緊急復旧に使用







水防活動を行う上で必要な土砂や、排水ポンプ車などの緊急用車両などを備え、災害発生時の緊急復旧を行う基地となります。